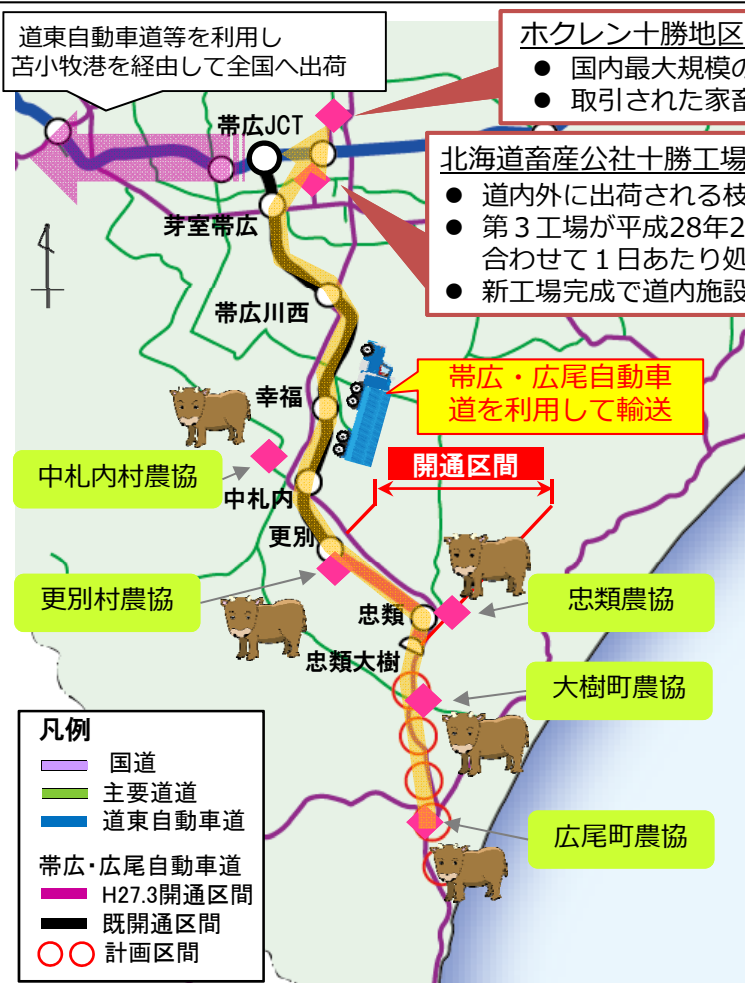


# 効果

# 生体牛輸送の走行安定性への貢献

- 国内有数の畜産生産地であるとともに、国内最大規模の家畜市場や、と畜場が立地している十勝では、管内の生体牛の輸送が重要となっています。
- 全国へ出荷され、ブランド牛としても生育される子牛の輸送においては、特に慎重さが求められます。揺れや振動が少なく、信号による停車・発車を回避できる帯広・広尾自動車道は、走行安定性の高い輸送に貢献しています。



## 農業協同組合・輸送事業者の声

- 成牛と異なり子牛はトラック内に固定しにくいので、前後左右の揺れや振動によりケガをしないよう、輸送中は特に気を使います。これは子牛がケガなどで体調を崩した場合、市場での価値が落ちる可能性があるからです。
- 生産農家から市場までの輸送は品質を維持したまま輸送が可能な帯広・広尾自動車道を忠類大樹ICから利用しています。

## ▼現道と開通区間の交差点数比較 (広尾町から出荷する場合)

